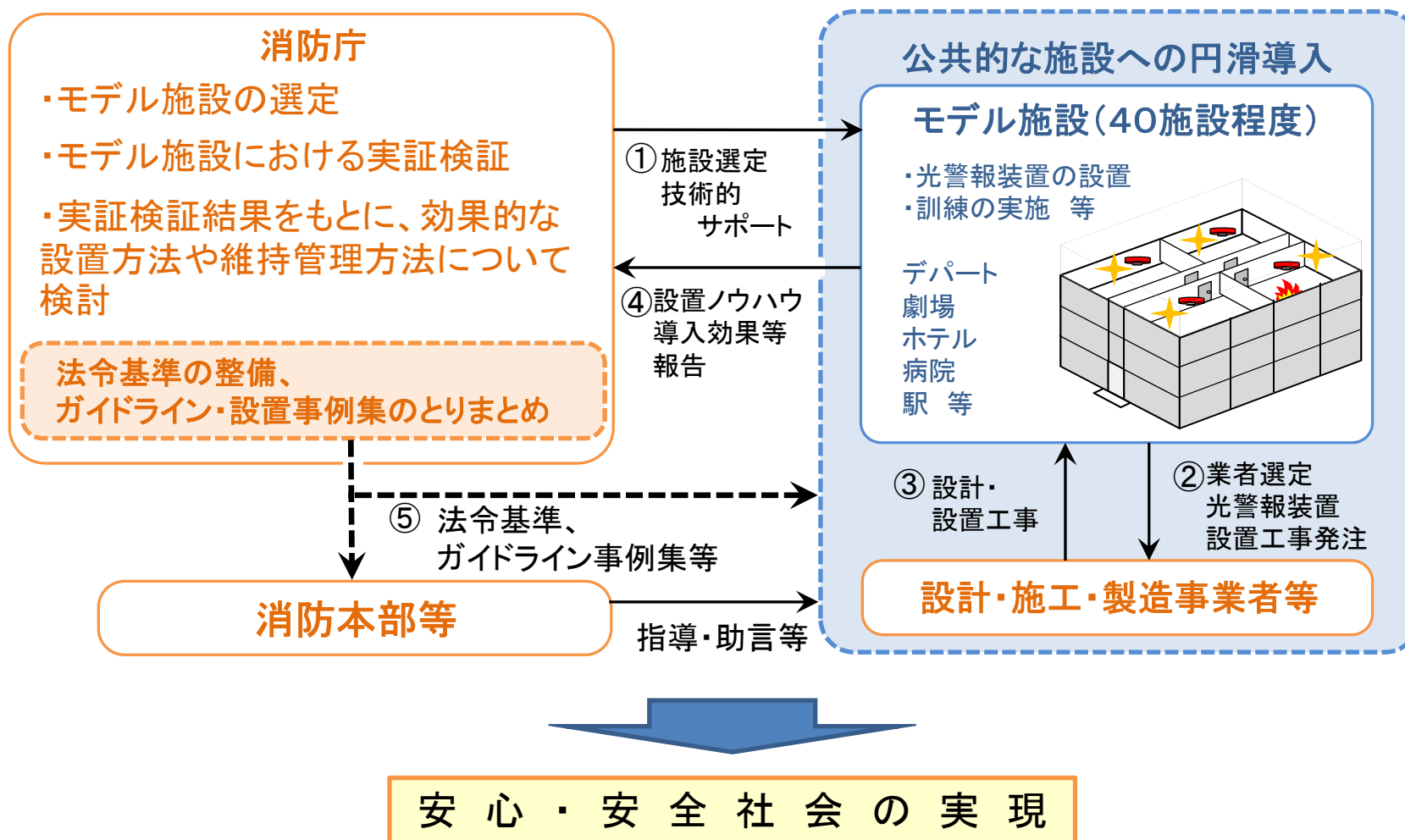


ユニバーサルデザインを踏まえた火災警報装置等の円滑な導入に向けて、既存の公共施設等のうち、全国40施設程度のモデル施設に対し光による警報装置を設置し、調査・検討を行う。結果について、必要に応じて法令基準の整備を行うとともに、設置事例集やガイドライン等としてとりまとめ、光警報装置の適切な設置・維持管理の方法を示す。

【全体スキーム(イメージ)】



高齢者や障がい者等に適した火災警報装置の調査検討事業

【検討部会】

第1回

- ・ 基準案の確認
- ・ モデル施設の選定方法

第2回

- ・ 基準案の確認
- ・ モデル施設の選定

第3回

設計段階に判明した課題に対する解決策の検討と基準案への反映

第4回

施工段階、運用段階に判明した課題に対する解決策の検討と基準案への反映

第5回

- ・ 設置基準(案)の確定
- ・ ガイドラインの確定
- ・ 設置事例集の確定

委員	必要な意見
学識経験者	基準全般に係る意見
建物設計関係者	実際に建物に設置するに当たっての意見
設備関係者	//
事業者団体	義務化、遡及等に関する設置者負担等に係る意見
聴覚障がい者団体等	施設利用時の意見
消防関係団体	規格もしくは認証制度等に係る意見
消防機関	基準全般、運用、立入検査等に係る意見

検討事項

- ・ 設置基準
 - ・ 施工方法、点検方法
 - ・ 遮蔽物等がある場合の取扱い
 - ・ 大空間での視認性
 - ・ 小区画での必要性
 - ・ 他の機器との連動
 - ・ 用途、形態等により求められる特殊な設置場所、設置除外場所、設置方法等の抽出
 - ・ 誤報対応
 - ・ 代替措置
- 等



高齢者や障がい者等に適した火災警報装置の調査検討事業

【今後のスケジュール(案)】

